

## 国際居住年記念事業 平成 29 年度「国際居住年記念賞」の受賞者について

国際居住年記念賞は、主として開発途上国等における居住環境問題の改善に貢献された団体に対し、1988 年の第一回授賞以来、主として海外の団体を中心として授賞してまいりましたが、平成 24 年度からは国内の NGO 等団体へ授賞することといたしました。

居住環境の更なる向上と草の根的国際協力活動の推進と発展に資するため、平成 29 年度「国際居住年記念賞」は 4 団体の応募者の中から、国際居住年記念事業運営委員会（委員長：小林重敬氏横浜国立大学名誉教授）において、以下の団体が選考され、授与することが決定いたしました。授与式は第 70 回通常総会(平成 30 年 6 月 15 日)の開催に先立ち、行いました。

### ◎国際居住年記念賞受賞者

特定非営利活動法人 新潟国際ボランティアセンター

<http://www.nvcniigata.wixsite.com/nvcjapan>

受賞者の活動概要は以下のとおりです。

当団体は、日本国際ボランティアセンター（JVC）の現代表である谷山博史氏が新潟大学で講演したのを受けて、新潟の市民が集まってラオスにおける乳児死亡率を下げるための資金援助を目的とした愛の架け橋バザーを開催したことをきっかけとして 1989（H 元）年に組織としての活動を開始した。

翌 1990（H2）年には任意団体となり、ベトナムでのスタディツアー事業を開始し、1996（H8）年からは小学校の建設を開始（現在まで 20 校建設）、1998（H10）年にはホーチミンにて元ストリートチルドレンが暮らせるオープンハウスを建築、障がい児が暮らす施設の生活支援事業、奨学金支援事業を開始した。

2014（H26）年からはベトナムのラムドン省マダグイこどもセンターでは障がいを持った女兒達が暮らすための住居の建築を支援、ベトナムのロンアン省ではシェルターでの女兒たちの自立を目指した縫製技術習得を兼ねたフェアトレード事業を開始している。（1999(H11)年に特定非営利法人として認証された。）

活動は開発途上国のみならず、地元新潟において地球を知る講座を開催し、国際問題や社会問題を学び、愛の架け橋バザー&フェスタにおいて多くの人々の力を結集し、新潟と世界が繋がり、共に育ちあう関係づくりを目指して活動している。